

数字で見る大阪経済のツボ

大阪シティ総合研究所の専属スタッフが
さまざまな経済指標にスポットをあて、
大阪経済の現状を分かりやすく解説します。

2024年8月

大阪府の完全失業率と有効求人倍率について

大阪府の2023年平均の完全失業率は3.2%で、前年比0.1ポイント上昇しました。大阪府の失業率が悪化するのは2年ぶりです。失業者数は15万3千人で、前年より2千人、率にして1.3%増加しました。これに対し、就業者数は467万1千人で、前年より1万9千人、率にして0.4%増加しています。新型コロナウイルスの5類移行などによる就職活動の活発化などが背景にあるとみられます。

大阪府の失業率は、全国平均と比較しますと恒常的に高い傾向にありますが、23年は全国の都道府県のなかで沖縄県（3.3%）に次いで2番目に高い水準となっています。

完全失業率の推移

(%)

	全国	大阪府
2009 年	5.1	6.5
2010	5.1	6.9
2011	4.6	5.1
2012	4.3	5.4
2013	4.0	4.8
2014	3.6	4.6
2015	3.4	4.2
2016	3.1	4.0
2017	2.8	3.4
2018	2.4	3.2
2019	2.4	2.9
2020	2.8	3.4
2021	2.8	3.5
2022	2.6	3.1
2023	2.6	3.2

(%)

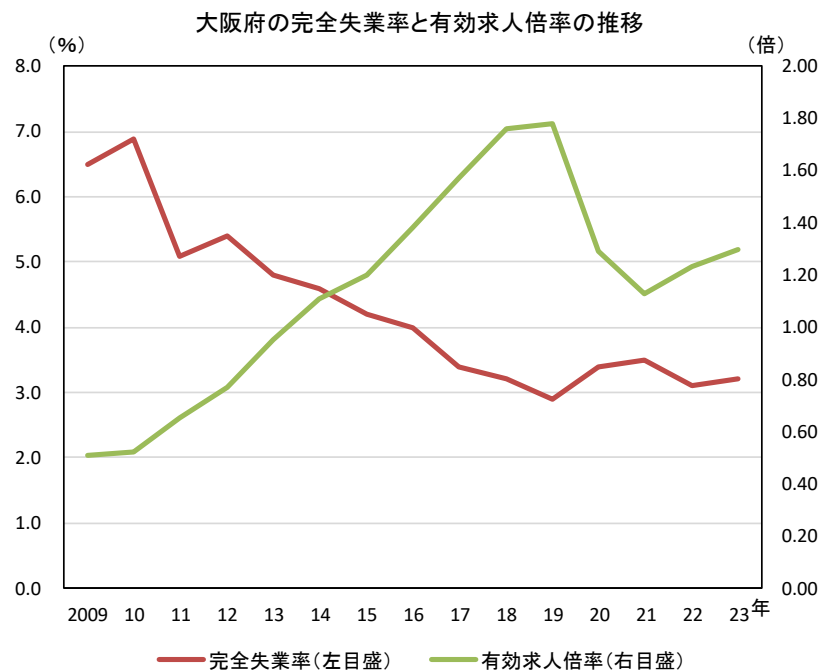
東京都	神奈川県	埼玉県	愛知県	福岡県
4.7	5.0	4.9	4.6	5.7
5.5	4.9	5.2	4.3	6.0
4.8	4.5	4.7	3.6	5.6
4.5	4.4	4.4	3.7	5.2
4.2	3.9	4.1	3.2	5.0
3.8	3.4	3.5	2.6	4.5
3.6	3.3	3.2	2.5	4.1
3.2	3.1	3.1	2.4	3.5
2.9	2.7	2.9	2.4	3.4
2.6	2.3	2.4	1.7	2.9
2.3	2.1	2.3	1.9	2.8
3.1	2.9	2.9	2.5	3.0
3.0	3.0	3.1	2.5	3.0
2.6	2.8	2.7	2.0	2.9
2.5	2.9	2.7	2.0	2.7

【資料】総務省「労働力調査」

次に、大阪府の有効求人倍率をみますと、2023年平均は前年比0.07ポイント高い1.30倍となりました。同倍率は、21年に1.13倍まで低下しましたが、22年に1.23倍と反転し、今回はさらに改善しました。ただし、伸び率は前年より鈍化しており、コロナの影響を受ける前の19年（1.78倍）の水準には届いていません。

	全国	大阪府
2009 年	0.47	0.51
2010	0.52	0.52
2011	0.65	0.65
2012	0.80	0.77
2013	0.93	0.95
2014	1.09	1.11
2015	1.20	1.20
2016	1.36	1.38
2017	1.50	1.57
2018	1.61	1.76
2019	1.60	1.78
2020	1.18	1.29
2021	1.13	1.13
2022	1.28	1.23
2023	1.31	1.30

【資料】厚生労働省



以 上